

先尾翼機 (Canard wing) の作り方

今回は先尾翼機をはがきサイズで作る。

カナード機ですから、名付けて KANAUDO (叶うど) 望みが叶って良く飛ぶか否かは貴方の腕次第です。

谷折り線 (赤) と山折り線 (緑) は、書けないボールペン等で十分に線引きして折りやすくして下さい。特に先端部は 1.5 度の迎え角になっていますので、注意してください。

黒実線で切出します。

ホッチキスの位置はバランス上重要です、折ると内側になり位置が解らなくなりますから予め光に透かして、裏側に鉛筆などで位置をマークしておいて下さい。

先端に同形の部品 2 枚を挟み、ホッチキス 3 箇所を止めます。

垂直尾翼を後端合わせで、挟み込みホッチキスで 2 ヶ所止めます。

胴体補強のホッチキス 2 ヶ所を止めて翼を広げます、ゲージの矢印側が上反角ゲージです。上反角を決めたら、そのゲージは今決めた上反角に合わせて矢印で谷折します。

そのゲージを後部から翼の後端に合わせて、垂直尾翼の下に差込、ホッチキスで 4 箇所を止めます。

総てのホッチキスは先長プライヤーなどで潰しておきます。先翼は両面テープか接着剤で貼り付けてください。

このままで手投げ試験をすると、完全に突込みますから、翼端後部の三角を僅かずつ上げるあまり角度が付くようなら、先翼後部を僅かに下げます。

カタパルト発射には、更に調整して、ほぼ直線で飛び出す様にして下さい。

調整が難しくなりますが、主翼前線の点線に沿って僅かに折り下げると、滑空が良くなります。(お好みで導入して下さい)

フックの位置は、先端から 20 mm 付近に、ニッパー、カッターなどで作ります。